

見えない未来に希望を



新年あけましておめでとうございます。

私たちは、新型コロナウイルス感染症パンデミックの中で、社会的な連帯、助け合いの必要性を再認識しています。連帯して共に大きな価値の実現に努力しようとする一方、まずは自分のことを整えて、次に隣の人のことを考えるという思考をすると、一歩前進することができなくなります。

世界では、経済成長により一部の人が富を増やす一方、多くの人々は生活改善ができず、格差社会が進んでいます。格差が生まれる仕組みについて、能力主義の行き過ぎ、私有財産の考え方を再考すべきなどの意見があります。日本では成長と分配について向き合う「新しい資本主義」を政府が提起し、中国では「共同富裕」というスローガンが掲げられました。今まで当然と考えてきた政治、経済、社会の仕組みそのものについても問われています。

現代はVUCAの時代と呼ばれ、濃霧で見通しの悪い道を歩いているような不安を感じ

じます。そのため、教育においては、過去の知恵や経験から学ぶだけではなく、探求型の授業を進め、未来に向かって自らが考え、作り出すことの価値と一歩踏み出す勇気を大切にしています。21世紀を担うのはユースであるのは確かですが、世代を超えての歩み寄りが必要です。ユースが存分に力を発揮できるようにするには、シニア世代が安心して老後の生活ができる環境を整えること、また支えられたシニアがユースを支える関係性が社会には必要です。

コリントの信徒への手紙—12章14節に「体は、一つの部分ではなく、多くの部分から成っています」また20節に「だから、多くの部分があっても、一つの体なのです」と記されています。私たちが隣人のことを考えるとは、他人のことを考えるのではなく、一つの体である私たち自身のことを考えることであると語っています。

今年、大阪YMCAは創立140周年を迎えます。「見えない未来に希望を」をテーマに

今までの歩みを振り返り、創立150周年に向けて新たなビジョンを策定します。世界は、地球規模のサステナブルな社会の創造に向けた取り組みが進められ、非営利組織の事業領域に企業も加わっています。喜ばしいことであると同時に、私たちに向けられた事業評価の視線は厳しくなっています。YMCAは、人と人とのリアルなコミュニケーションと関係性の中で「良くなっていく」価値を実現させてきました。私たち大阪YMCAは、YMCA運動を広げていくための本質的な課題は何かについて直視し、皆さんと希望を持って共に生きる社会の実現をめざす歩みを進めたいと願っております。



大阪YMCA
総主事

おがわ けんいちろう
小川 健一郎

■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をなくくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み、平和で公正な世界をめざします。

大阪YMCA大会2021

大阪YMCA大会実行委員長 **本多 勝弘**

11月23日(火・祝)に大阪YMCA大会2021をオンラインで開催し、約130名が参加しました。「みつかる、つながる、よくなっていくYMCA」をテーマに式典と交流プログラムが行われました。

式典では、大阪YMCAの活動に多大な奉仕や献金をされた方、永年継続会員への表彰が行われ、受賞者へのインタビューでは「大阪YMCAの活動に参加したきっかけや、活動の中で何をみつけたか」「活動を通して自分自身がどう変化し、これからどうなっていきたいか」について語っていただきました。国際奨学金を授与されたネパール出身の留学生からは、コロナ禍で経済的に苦しい状況だったが、奨学金の受給により勉強に専念できるようになったと感謝のメッセージがありました。

また、各事業の活動が写真や動画で報告され、コロナ禍においても工夫しながら活動している様子や、今年度新たに開設された、ほっとすてっぷSOUTH、さかいっこひろば、たまがわケアプランセンターが紹介されました。

交流プログラムでは、参加者の皆さんのオンラインリアルタイムでのYMCAイメージ調査から始まり、大阪YMCAに参加している方々の生の声を通して、どのように「みつかり、つながり、よくなっていく」のか、5つの異なる活動のインタビュー動画で紹介がありました。YMCAで出会った様々な関係性から、YMCAのポジティブネットを感じる事ができました。

後半は、大阪YMCAに関わる5名のコースに登壇いただき、「将来どんな人になりたいか」「2030年のYMCAがどんな場所であることを望むか」など、未来をテーマとしたパネルディスカッションが行われました。未来を担うコース世代のリアルな心の声を聞くことができ、コースだけでなく全ての世代にとって考える時間となりました。



インタビュー動画
(留学生×日本語ボランティアチューター)その他4組のペアの動画



パネルディスカッションの様子
登壇者: コースボランティアリーダー、YMCA学院高等学校生、大阪YMCA国際専門学校 日本語学科 留学生、大阪市立水都国際高等学校生、元コースボランティアリーダー(社会人)

岩坂二規会長による開会メッセージ(要約)

未知のウイルスによって世界が一変して2年が経ち、先行き不透明で不安を感じる方が多いと思います。数年前から、とくにビジネスの世界で「変動性、不確実性、複雑性、曖昧性」を表す「VUCA」という言葉が目立っていますが、まさにこの2年のコロナ禍はVUCAの時代の象徴的な出来事といえるかもしれません。教育の世界では、そのような時代を生き残るための新たな能力や適性を求めるようになってきていますが、YMCAがめざす全人的な教育とは、その能力がないと生きていけないと伝えるようなものではありません。

今年の大会テーマである「みつかる、つながる、よくなっていくYMCA」というメッセージは、みつけなければ、つながらなければ、よくならなければ、価値がないということではありません。条件付きの幸せや愛情ではなく、誰もが絶対的に愛される存在として生きることができる世界を実現するために仕え、ともに働くことの喜びと希望が込められているのです。

小川健一郎総主事による閉会メッセージ(要約)

今回の大阪YMCA大会では多くのコースや会員の声を届けようという準備を行いました。本日はコースから2030年にどんなYMCAになりたいか?どんなYMCAを期待するか?という声を聞くことができました。2022年には創立140周年を迎えます。大阪YMCAが、将来を見据えて新しいことに取り組み、多くの方が集い、こんな社会を作りたいといつも考えている場所でありたいと願っています。

表彰者一覧 (敬称略)

●奉仕の書

奉仕の書は、長年にわたり顕著な活動をされた会員の方のご芳名を「奉仕の書」に記し、その働きを讃える賞です。

岩田 晋

●永年継続会員

【50年継続会員】

金岡 重雄 錦織 一郎 松野 五郎

【25年継続会員】

北澤 圭太郎 佐藤 祐規子
福山 正和 榎井 智之

【10年継続会員】

佐藤 直子 清水 渚

●特別感謝

井上 公男

●特別献金感謝

阿舍利 くるみ 岩田 晋 金岡 重雄
清水 汎 孫 貞麗 鉄谷 明
牟 大盛

●世代表彰

世代表彰は、親子・孫などご家族でYボランティアに登録し、3年以上同時期に継続している会員です。

隅田 薫・関 美穂 伏見 祐子・伏見 茉琴

2021年度ファミリーカーニバル報告

ファミリーカーニバル実行委員会 **並木 聡子**

11月3日(水・祝)、大阪南YMCAに集う仲間を対象に「ファミリーカーニバル」を開催しました。今年はオリンピックイヤーにちなんで「ミナミンピック〜Home Away From Home〜」をテーマに掲げて実施しました。コース事業のからだを使ったゲームやファミリー水泳、ワイズメンズクラブの野菜や果物の販売(ミナマルシェ)による収益金、有志によるアコーディオンやマンドリンの演奏を聞いた方からの献金によって、15万5千円の収益金が集まりました。また、11月は「ファミカマンズ」として2週間のオンデマンド配信も実施し、各国の料理をYouTubeで配信するなど子どもから大人まで多くの方が楽しみました。収益金はクリスマス献金として国際支援、地域課題解決プログラムなどに用います。



2021年度とさぼりカーニバル報告

とさぼりカーニバル実行委員会 委員長 **藤井 みどり**

11月3日(水・祝)に世代や国境を越えた出会いと交流による新しい発見とつながりを深めることを目的に、大阪YMCA土佐堀会館に集う会員・教職員とその家族を対象として「とさぼりカーニバル」を今年も開催しました。今年もライブ配信に加え、開催後2週間の13の動画プログラムのオンデマンド視聴など、コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインで実施しました。

大阪市立大学サイエンスボランティアサークルとの協働によるSTEM実験教室では、マヨネーズ作りを通して乳化についての学びをライブ配信で行い、参加者からは手作りはおいしかった、実験レポート作成の経験ができて良かったなどの感想がありました。とさぼり保育園による歌遊びとスイートポテト作り、英語幼稚園による各国の昔話紹介、留学生によるそれぞれの国のおすすめ料理紹介、国際専門学校とインターナショナルスクールの生徒によるステージパフォーマンスなど多岐にわたるプログラムを多世代の方が楽しみました。



フレイル予防 楽しくトライ体操

中高齢者事業 **南川 恵美子**

東大阪市から受託している一般介護予防事業では、ご当地体操「楽しくトライ体操」を活用し、土佐堀ウエルネスと協働でフレイル予防の講座を行っています。昨年からの外出自粛により、実際に集まる講座の多くが取りやめとなり、その結果、高齢者の閉じこもりや認知症が進行したという報告が地域包括支援センターからありました。老人会やサークル活動の多くが中止となり、日常生活での活動量や、人とのコミュニケーションの機会が減少し、体も心も急に変化することが原因と考えられます。

YMCAスタッフが指導する「楽しくトライ体操」は、体全体を意識しながら動かします。力を入れる動作では息が止まりがちですが、唱歌に合わせて唄いながら体操することで、正しい呼吸法を保ち、血流を上げます。脳への刺激も十分となり認知症予防につながります。オンラインでの体操指導では、画面を通してYMCAスタッフと会話をしながら、動作ポイントの一つひとつ確認し、積極的に取り組んでもらいます。

ます。オンラインであっても集まり、コミュニケーションを取り、笑い合いながら体を動かすことが、モチベーションを保つきっかけとなっていると感じます。自宅での継続運動とYMCAスタッフによる参集型講座の両輪を上手く活用し、フレイル予防が地域に広まるよう、今後も地域に出向いてお伝えしていきたいと思えます。

※フレイル予防…より早期からの要介護状態の予防



大阪YMCA日本語教育センター1周年記念特別セミナー

大阪YMCA日本語教育センター センター長 **亀田 美保**

11月27日(土)、大阪YMCA日本語教育センター1周年記念特別セミナーをオンラインで開催しました。事前の応募者216名、当日の参加者162名と、日本語教育に携わる多くの方々に関心を寄せていただき、心より感謝申し上げます。第1部では、琉球大学グローバル教育支援機構の教授、名嶋 義直先生に基調講演をいただきました。異論を排除せず、コミュニティ内部や自分自身の中の複数性を尊重し、対話を通してコミュニティをより良い場にしようというもので、多様性の時代において日本語教育やYMCAの活動を行う際にも心掛けたい示唆に富んだお話でした。第2部・第3部では、地域で学ぶ日本語学習教材の紹介をしました。これらは、文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業を大阪府教育庁より受託し作成したも

ので、初級編は日本語教育支援グループ・ことのほの矢谷 久美子理事長より、初中級編は本センターの亀田より教材概要と使い方についてお話ししました。参加者からは、「すぐに使えそう」「進め方が良かった」など、好評をいただきました。



「いじめのない世界をめざそう」 YMCAピンクシャツデー2022

大阪YMCAは、全国YMCAと共に、「いじめ」に自分事として向き合い、社会全体で解決をめざして共に考え、行動するためにピンクシャツデー(PINK SHIRT DAY)に取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症への恐れはわたしたちの生活に不安をもたらし、心ない偏見や差別を生み出し、いじめの問題も複雑さと深刻さを増しています。2021年10月13日に文部科学省が発表した調査によると、2020年度は感染防止のための休校措置により学校でのいじめ認知件数は減少する一方、SNS等を利用したネット上でのいじめ件数、子どもの自殺数がいずれも過去最多となったことが分かりました。

このような深刻ないじめの問題に対して、一人ひとりが『傍観者にならない』こと、『自分ではない誰かのために』行動することを呼びかけ、ポジティブで前向きな「よくなる」の連鎖を生み出すための啓発活動に、学校・教育機関、地域社会、企業・団体、行政のみならず共に取り組んでまいります。



具体的な活動は、Facebookにて発信・ご報告してまいります。
<https://www.facebook.com/ympapinkshirtday/>

ピンクシャツデー2022
2022年2月23日(水・祝)

※取り組み期間 2022年2月1日(火)～2月28日(月)



ピンクシャツデーとは

2007年、カナダでピンクのシャツを着て登校した少年がいじめられました。それを見た2人の生徒が50枚のピンクのシャツを友人・知人に配り、翌日登校します。学校では呼びかけに賛同した多数の生徒がピンクのTシャツを着て登校。学校中がピンクに染まり、いじめが自然となくなったそうです。そのエピソードがSNS等で世界中に広まり、今では70カ国以上でいじめに対する活動が行われています。カナダで最初にこの出来事があった日が、2月の第4水曜日でした。それ以降、2月の第4水曜日には私たちもいじめについて考え、行動する1日としています。

大阪YMCA早天祈祷会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かち合う恵みの時としています。

■第335回 日 時... 2022年1月21日(金) 7:30～8:15
証 し... 林 健児郎さん(六甲山YMCAグローバルセンター)
場 所... 大阪YMCA会館 10階 チャペル

■第336回 日 時... 2022年2月18日(金) 7:30～8:15
証 し... 小寺 隆志さん(体育・ユーススポーツ事業 事業長)
場 所... 大阪YMCA会館 10階 チャペル

※朝食会はございません。
※新型コロナウイルスの感染状況により、中止の可能性があります。

健康コラム

冬のウォーキング効果

ユース事業部 南YMCA **並木 聡子**

寒い冬はつい、家にこもりがちになりますよね。しかし、冬のウォーキングは良いことがたくさんあります。

●冬の朝のウォーキングは幸せホルモンが活性化します！

朝ウォーキングをすると、「幸せホルモン」と呼ばれる「セレトニン」の分泌が活性化します。セレトニンは、悩みや不安を克服して、穏やかで安定した気持ちをもたらす脳内伝達物質。セレトニンの分泌には日光浴・歩行・呼吸が必要と言われており、朝の柔らかな光の中のウォーキングは、やすらぎと幸せの第一歩なのです。

●寒い中での活動で、基礎代謝アップ！

わたしたちは常に体温を36～37度前後に一定に保つことで生命を維持しています。冬になり外気の温度が下がると、体温を保つために熱を作り出そうとカロリーを消費するので、基礎代謝がどんどん上がります。つまり、外気が寒ければ寒いほど、基礎代謝が上がり痩せやすくなるのです。

寒い季節ですが家にこもらず、外を歩いて、健康に過ごしましょう。



第26回 大阪YMCAチャリティーラン2021 2022年3月20日(日)

エントリー締切 1月31日(月)
まだの方は、お早めに！

今年はウォーキングでのご参加も大募集しています！
花博記念公園 鶴見緑地 山のエリアで
ゆったりラン&ウォーキングしませんか？



※詳細は下記、
大阪YMCAチャリティーラン
WEBサイトをご確認ください。



会員・賛助会員としてのご協力に 感謝申し上げます。

2021年11月度報告・敬称略

【継続会員】

加志 勉
北尾 千夏
武田 龍一
田尻 忠邦

朱 宰亨

中川 善博
浜崎 正三
眞嶋 克成
元木 紀世美

【継続賛助会員】

株式会社亀井組

【新規賛助会員】

Galaxy Books 株式会社

大阪YMCAのホームページで
その他の情報をご覧いただけ
ます。

